

## Keyword

- 06 -

# 久保田の ゆずリキュール

日本酒の楽しみ方が広がる!  
ブランド初のリキュールが誕生

日本酒ブランド「久保田」から、初のリキュールが登場。高知県産の香り高い本ユズのフルーティーな果汁感と、「久保田」らしいキレのバランスがよく、飲みやすさも抜群。冷蔵庫でしっかり冷やしてから飲むと、よりすっきりとした味わいを楽しめる。ストレートやロックをはじめ、ソーダや紅茶で割ったり、ヨーグルトやフルーツをプラスしたりとアレンジも自由自在。好みの飲み方で楽しんでみて。

公式HPでは、気になるアレンジレシピが多数紹介されています! 身近な食材で作れるものばかりなので、いろいろと試してみてはいかがでしょうか?



Editor  
Nashimoto



久保田  
ゆずリキュール(720mL)  
1,430円

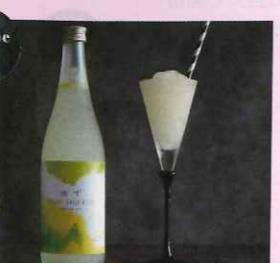
アルコール度数は9度で軽やかな飲み口。日本酒上級者はもちろん、ビギナーにもおすすめ。

Recipe  
1



氷と刻んだユズの皮をグラスに入れ、リキュールと同量の紅茶を注ぎ、軽く混ぜる。華やかな香りを楽しめる大人のユズティーが完成。

Recipe  
2



ゆずリキュールを冷凍可能な密封袋に入れて凍らせる。シャリシャリになってきたら、袋に入れそのまま揉み、シャーベットに。

Recipe  
3



グラスに氷を詰め、刻んだユズの皮を入れる。そこにリキュールとソーダを1対1で注げば、爽やかな香りが広がるユズフizzに。

## Keyword

- 04 -

# キャンディス

優雅な香りに包まれて幸せ♪  
ドイツ生まれの氷砂糖

数々のヒット商品を販売するカルディコーヒー フームから、またしても女性の心をくすぐるアイテムが登場。その名は「キャンディス」。ドイツのデリカッセン「ミヒエルゼン」が作る、氷砂糖をフレーバーシロップやリキュールに漬けたもので、紅茶やコーヒーなどに入れて楽しめる。見た目もかわいらしく、SNSでも話題に。人気が高く品薄状態が続く店舗もあるそうなので、見つけたら即ゲットしてみて!

製造元のミヒエルゼンは、1814年にドイツのハンブルクに創業した老舗のデリカッセン。王室御用達に認定されるなど、伝統と歴史のあるメーカーです



Editor  
Kouno



Point  
1



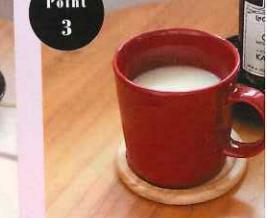
そのままなめてもおいしい。ふたを開けた瞬間、ベルガモットや洋ナシの爽やかな香りがふわっと広がり、幸せな気持ちになる。

Point  
2



紅茶はもちろん、コーヒーに入れてもOK。市販のティーバッグの紅茶が、一気に香り高く優雅な風味に変身する。

Point  
3



ホットミルクに入れるのもおすすめ!  
カルダモンやシナモン、クローブ等が香るチャイがイチオシ。

## Keyword

- 07 -

# ヨリソウ YORI-SO

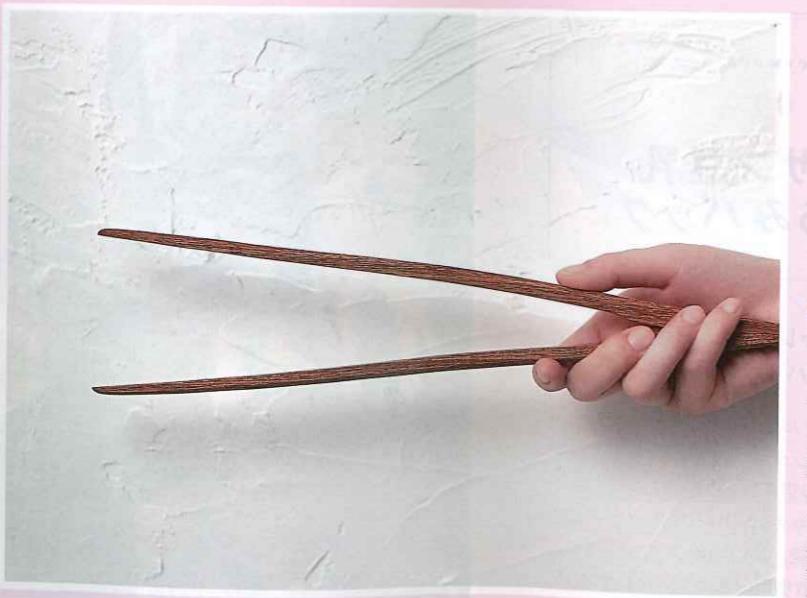
マグネットと木材がコラボレート  
つかみやすい! 注目のキッチンツール

主に園芸用品の農具を製造・販売する三条市の企業・カネコ総業が、2017年に立ち上げたネクストブランド「YORI-SO」。マグネットの磁力と木加工の形状が生み出す反発力を利用し、食材をつかみやすい箸やトングをラインアップ。熟練の木工職人がひとつずつ手作業で作り、微調整を繰り返すこと、で、抜群の使いやすさを実現している。力が弱い人や箸に不慣れな人にもおすすめのこと!

使い続ける中で箸先が欠けたり、ズレが出来てしまった場合は有償修理もしてくれるそう。  
長く使い続けられることもあり、贈り物としても喜ばれそうな一品ですね!



Editor  
Kawamura



YORI-SO  
お箸トング 8,800円~  
※サイズ、材質によって  
価格は異なる  
お箸、取り分けトング、盛  
り付け箸など、多彩なシ  
ンを想定したアイテムがそ  
う。それぞれ専用の箸置き  
や卓上スタンドがセットに。

Point  
1



先端にかけて緩やかなカーブを描く握りやすい形態と磁力との絶妙なバランスで、どんなものでも力を入れずにつかむことができる構造に。

Point  
2



食材をつかむ先端部分には、しっかりと滑り止め加工が施されている。来客時に大人数で食事をする時などに重宝しそうだ。

Point  
3



それを完全に取り外して洗うことができるため、衛生面はバッチリ。バネや金具といった部品がないため、さびる心配がないのもうれしい。

## Keyword

- 05 -

# 折燕 ORI-EN

熱かんにしても素手で持てる!  
美術品のように美しい酒器に注目

自宅にワンセットあるだけでテンションが上がるオシャレな酒器「折燕 ORI-EN」をご存じ? こちらは言わずと知れた金属加工の名産地・燕市と、富山県高岡に拠点を置く職人のタッグで生まれたとっくとくいの。二重構造ステンレスの表層に鮮やかな着色を施していて、見た目はまるで美術品のよう。熱かんを入れて素手で持っても熱くないので、これから季節に大活躍しそう!

デザイン性と機能性を兼ね備えた優秀アイテ  
ムですね! 見た目がかわいい上、保温機能  
でおいしい温度をキープできるなんて、日  
本酒女子にはたまりません!



Editor  
Sato

